



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

【令和2年度までの貸与者用】

令和3年度

福島県奨学資金《震災特例採用》

奨学生募集案内

福島県教育委員会では、原子力災害被災地域において被災し、経済的理由により修学が困難となった高校生を支援するため、福島県奨学資金《震災特例採用》の奨学生を募集します。

◆対象者 ※1年生以外の学年の方も応募できます。

- ・保護者が福島県内に住所を有する高校生、専修学校生（高等課程）、特別支援学校高等部の生徒
- ・勉学に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると学校長が認める生徒
- ・原子力災害被災地域において被災し、下記のいずれかの事由により修学が困難で、生徒の生計を主として維持する方の所得金額が所得基準額以下（※）であること。

※所得金額：総収入金額から必要経費及び特別控除額を差し引いた額（目安：父・母・高校生・中学生の4人世帯の場合の所得基準は、給与所得者の場合785万円以下、給与所得者以外の場合330万円以下）

- ① 警戒区域又は計画的避難区域内に居住して避難した場合
- ② 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住して市町村の判断により避難した場合

◆貸与月額

	自宅通学	自宅外通学
国公立	18,000円	23,000円
私立	30,000円	35,000円

※ 保護者と同居の場合は自宅通学扱い

◆貸与期間 令和3年4月～令和4年3月

◆貸与方法

採用決定後、年2回（令和3年9月末と令和4年1月末）に分けて奨学生本人の口座に振込み

◆利子 無利子

◆保証人 連帯保証人1名（原則保護者）

◆返還

卒業から6ヶ月経過後より7～8年間で返還
ただし、卒業後の奨学生本人の年収が300万円以下の場合には願出により、最大5年まで返還を猶予することができます。（卒業した学校種にかかわらず同じ基準）

また、卒業から5年経過後も年収300万円以下の場合には願出により返還義務を免除します。

◆申込方法

願書に必要な書類を添付し、在学する学校へ申し込んでください。申込み手続き等については、学校へお問い合わせください。

◆申込締切

・学校への申込締切

令和3年 月 日（ ）

・学校から県教委への提出締切

令和3年7月30日（金）必着

継続扱い応募者（令和2年度までの貸与者）〈必要書類〉

※今年度のみ下記書類の提出となります。

1. 福島県奨学生願書(第1号様式)

- ① 「記載例」及び願書裏面「記載上の注意」をよく読み、読みやすい字で記入してください。
- ② 本籍及び現住所は住民票謄本の記載どおりに、番地まで正確に記入してください。
- ③ 申請者及び連帯保証人について、現在居住している住所が住民票上の住所と異なる場合は、願書の下余白に、現在居住している住所を記入してください。(例 申請者:〇〇市〇町1-1 仮設住宅101号)
- ④ 連帯保証人は、県内に住所を有する親権者等(父、母または未成年後見人)となります。特別な事情がない限り、初回応募時と同一の保証人をお願いします。
- ⑤ 記入誤りを訂正する場合は、二重線を引き、その上に押印してから余白に記入してください(修正ペン、修正テープは使用不可)。

2. 学習状況報告書

記入後、学校による認定が必要です。

3. 令和3年度所得証明書（就学者以外の世帯全員のもの）※源泉徴収票は不可。

- ① 就学者以外は、無職、年金受給者の方も提出してください。
- ② 令和2年の中途又は令和3年中に退職、転職(開業・転業・勤務先変更も含む)等がある場合は、他に書類を提出していただく場合がありますので、お問い合わせください。
※令和3年度所得証明書の発行開始時期は各市町村で異なるので、各市役所・役場へお問い合わせください。

4. 住民票謄本(本籍記載の世帯票)

- ① 同一生計の方全員分です。別居している方も提出になります。
- ② マイナンバー(個人番号)の記載のないものを提出してください。戸籍謄本や広域住民票は不可です。
- ③ 生徒本人が保護者と別居し、かつ、住民票と異なる住所に居住している場合は、必ず「居住証明書」を提出してください。※居住先の管理者から証明を受けてください。

5. その他

- ① 奨学金の振り込みは、新規応募時の申請口座となります。(原則変更不可)
- ② 初回応募時と状況が変わった場合、他に書類を提出していただく場合がありますのでお問合せください。

令和3年度貸付から制度が改正となっております。

引き続き震災特例採用の奨学金を希望される方は、募集案内をよく読んで応募してください。

返還条件は令和2年度以前の貸与については旧制度、令和3年度以降の貸与については新制度が適用されます。

令和3年度福島県奨学資金 《震災特例採用》Q&A

《目次》

I 貸与について

[Q1] 自主避難により転居・転校しましたが、申し込むことはできますか。

[Q2] 警戒区域から避難し、県外の高校に在学していますが、申し込むことはできますか。

[Q3] 警戒区域等から避難し、避難指示解除後、自宅に戻った場合でも申し込むことはできますか。

[Q4] 主たる生計支持者である父親の所得金額が所得基準額を超えていますが、貸与を受けることはできますか。

[Q5] 現在、県奨学資金（在学採用または予約採用）の貸与を受けていますが、申し込むことはできますか。

[Q6] 貸与月数はどのようになるのですか。

[Q7] 他の奨学金との併願や併用はできますか。

[Q8] 来年度以降も継続して借りられますか。

[Q9] 奨学生に採用された後、福島県外に住民票を異動した場合、奨学金は継続して借りられますか。

II 返還について

[Q10] 願出により返還猶予となるのはどのような場合ですか。

[Q11] 願出により返還免除となるのはどのような場合ですか。

[Q12] 返還猶予、免除にはどのような手続きが必要ですか。

[Q13] 返還免除とならないのはどのような場合ですか。

[Q14] 返還免除基準に該当すれば、過去に貸与された震災特例採用以外の県奨学資金についても願出により免除されるのですか。

I 貸与について

[Q1] 自主避難により転居・転校しましたが、申し込むことはできますか。

[A] 震災特例採用の対象とはならないため、申し込むことはできません。

原子力災害被災地域において被災し、下記にあてはまる場合が対象です。

- ・ 警戒区域又は計画的避難区域内の住民
- ・ 緊急時避難準備区域に指定されていた区域又は屋内退避指示が出ていた区域の住民であって、市町村の判断により避難した者
- ・ 特定避難勧奨地点に指定された地点の住民であって、避難した者

[Q2] 警戒区域から避難し、県外の高校に在学していますが、申し込むことはできますか。

[A] 申請日現在、保護者の住民票が県外にある場合は申し込むことはできません。保護者の住所地が引き続き県内にある場合は申込みできます。

[Q 3] 警戒区域等から避難し、避難指示解除後、自宅に戻った場合でも申し込むことはできますか。

[A] 引き続き経済的に修学が困難な状況にある場合は申し込みできます。

[Q 4] 主たる生計支持者である父親の所得金額が所得基準額を超えていますが、貸与を受けることはできますか。

[A] 経済的に修学が困難であると認められないため、貸与を受けることはできません。

[Q 5] 現在、県奨学資金（在学採用または予約採用）の貸与を受けていますが、申し込むことはできますか。

[A] 震災特例採用の要件に該当する場合は、申し込むことができます。

ただし、震災特例採用の奨学資金が貸与される場合、現在貸与を受けている県奨学資金と重複して貸与を受けることはできません。必要な手続きを経て震災特例採用の奨学資金に切り替えることが可能なので、学校を通じて県高校教育課へお問い合わせください。

[Q 6] 貸与月数はどのようになるのですか。

[A] 令和3年4月分から令和4年3月分の最大12ヶ月分について貸与を希望することができます。

[Q 7] 他の奨学金との併願や併用はできますか。

[A] 他の貸与型奨学金とは併用できません。

なお、給付型奨学金については、併用して構いません。

[Q 8] 来年度以降も継続して借りられますか。

[A] 貸与期間は原則として1年間であり、令和4年度以降の本奨学資金の実施については、未定となっております。

[Q 9] 奨学生に採用された後、福島県外に住民票を異動した場合、奨学金は継続して借りられますか。

[A] 奨学生本人の住民票の住所が福島県外に異動しても、奨学金の貸与は継続できます。ただし、連帯保証人（原則保護者）の住民票を福島県外に異動した場合、その時点で奨学生の資格を喪失する場合があります。連帯保証人の住所変更の際には、事前に高校教育課までご連絡ください。

II 返還について

[Q10] 願出により返還猶予となるのはどのような場合ですか。

[A] ①上級学校に進学した場合の在学中

②卒業後の年収が300万円以下の場合（最大5年間まで）

[Q11] 願出により返還免除となるのはどのような場合ですか。

[A] 卒業から5年経過後も年収が300万円以下の場合、免除の対象となります。

[Q12] 返還猶予、返還免除にはどのような手続きが必要ですか。

[A] 主な手続きは次のとおりです。詳しくは、貸与決定時にしおりをお渡しします。

【在学中の手続き】

① 貸与期間終了時に、在学する学校を通じて「借用証書」及び「返還明細書」を
県教育委員会に提出

【卒業後の手続き】

② 上級学校等に進学した場合は、在学証明書を添えて「返還猶予願」を県教育委
員会に提出

③ 卒業後（上級学校等に進学した場合はその卒業後）、年間収入が300万円以下
の場合は本人の1年間の収入見込額がわかる書類（例：勤務先の証明を受けた給
与等見込証明書）と猶予願を県教育委員会に提出（最大5年まで）

④ 卒業から5年経過後も年間収入が300万円以下の場合、返還免除願を県教育委
員会に提出

[Q13] 返還免除とならないのはどのような場合ですか。

[A] 震災特例奨学資金を貸与された方が高校等を退学した場合、返還免除は認められ
ません。

また、卒業後の奨学生本人の年間収入が300万円を超える場合は、奨学資金を返還
する十分な資力があると認められるため、返還免除は認められません。

[Q14] 返還免除基準に該当すれば、過去に貸与された震災特例採用以外の県奨学資金につ
いても願出により免除されるのですか。

[A] 今回の返還免除は、震災で被災し経済的に修学が困難となった生徒に奨学資金を貸
与することにより、県の震災後の復興を担う奨学生の将来に一層の負債を負わせるこ
とが、震災特例採用を実施する趣旨に反することから特例的に行うものですので、そ
れ以外の採用区分（在学採用、予約採用、緊急採用）には適用されません。

例) 令和3年度に震災特例採用決定・奨学資金貸与

令和4年度に大学に入学し、県奨学資金(大学)を貸与

→ 令和3年度分に限り、卒業から5年経過後も返還免除基準に該当する場合は
願出により免除

継続者用 (令和2年度までの貸与者)

申請書類チェックリスト

願書記入前にお読みください

【ご家庭で用意するもの】

- ① 住民票謄本(3ヵ月以内発行) 本籍地記載でマイナンバーの記載のないもの。同一生計者全員分が必要。
- ② 令和3年度所得証明書 就学者以外の世帯全員分が必要。

【記入時の注意】

- ① 各書類の記載例(別紙)を必ずご確認ください。
- ② 訂正は、二重線の上に押し余白に記入してください。(修正液や修正テープは不可)
- ③ コピーを添付する際は、A4用紙に統一してください。
- ④ すべての書類の「本籍」と「現住所」欄は、番地等を簡略せず住民票の記載どおりに写してください。
(※一番間違いが多い箇所です。差し戻しで期限切れにならないようご注意ください。)

【記入・提出する書類】 記入終了後、そろっているか口に✓ チェックしましょう

<input type="checkbox"/>	第1号様式 福島県奨学生願書(両面)
<input type="checkbox"/>	学習状況報告書(学校長の認定が必要です)
<input type="checkbox"/>	住民票謄本(原本)
<input type="checkbox"/>	令和3年度所得証明書(原本)

+

該当者のみ

<input type="checkbox"/>	居住証明書	※自宅外通学の申請者のみ提出(自宅通学者は不要)
<input type="checkbox"/>	特別な事情にかかる経費内訳	※該当項目があり、所得から特別に控除したい場合のみ提出
<input type="checkbox"/>	給与支払(見込)証明書	※令和2年の中途又は令和3年中に退職・転職者がいる場合のみ提出



そろったら、早めに学校へ提出しましょう

(必要に応じて追加書類の提出を求める場合があります)

※ 奨学金の振込は、新規応募時の申請口座となります。(原則変更不可)

第1号様式 (第1条関係)

(表)

福 島 県 奨 学 生 願 書		※受付番号							
		※法審番号		高・大 第 号					
		ふりがな				性別			
		氏 名							
生年月日		年 月 日 (満 歳)							
在 学 学 校	立		本 籍						
	部 制 科 学年		現 住 所		電話番号 ()				
同 上 の 所 在 地	電話番号 ()		希 望 事 項		貸与月額 円				
					貸与期間 年 月から 年 月まで				
					大学等入学一時金 円				
家 族 の 状 況	氏 名 (生計維持者と別居している者にはX印をつけること)	続柄	年齢	職 業	勤 務 先 又 学 先	疾病の有無	収入(税込)額 千円	所得(税込)額 千円	※
	1	本人							
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
計 名									
連 帯 保 証 人	ふりがな				ふりがな				
	氏 名				氏 名				
	生年月日		年 月 日 (満 歳)		生年月日		年 月 日 (満 歳)		
	本人との続柄		年間収入(税込) 千円		本人との続柄		年間収入(税込) 千円		
	本 籍				本 籍				
	現住所		電話番号 ()		現住所		電話番号 ()		

裏面の記載上の注意を読んでから記入してください。

参 考 事 項	奨学金を希望する理由				
	現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金	有	修学のための資金の名称		資金の種類
					貸与・給付
		無			貸与・給付
			貸与・給付		
	本人の履歴	年 月 日	履 歴		
		年 月 日	立 中学校入学		
		年 月 日			
		年 月 日			
		年 月 日			
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
1カ月当りの平均学費 (収入=支出)	収 入		支 出		備 考
	家 庭 か ら	円	生 活 費	円	
	アルバイト等から	円	交 通 費	円	
	県奨学資金から	円	学 校 納 付 金	円	
	そ の 他 か ら	円	書 籍 ・ 学 用 品	円	
			そ の 他	円	
	計	円	計	円	

以上の記載事項に相違ありません。
 奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り奨学生としての責務をはたすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。

上記のとおり保証人と連署して誓約します。

年 月 日

福島県教育委員会教育長

申請者
(自 署)

連帯保証人
(自 署)

保証人
(自 署)

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 連帯保証人とは、福島県奨学資金貸与条例第5条第2項に規定する者をいう。
- (3) 現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金が有る場合は「修学のための資金の名称」の欄に当該資金の名称を記入し、「資金の種類」の欄の該当する種類を○で囲んでください。
- (4) 「本人の履歴」の欄には、中学校入学以来の学歴、職歴等について記入し、休学、転学、退学等の身分の異動については、理由を付して記入してください。
- (5) 「1カ月当りの平均学費」の欄には、在学生にあつては直近の1カ月当りの平均学費を、新入生にあつては入学後の1カ月当りの見込額を記入してください。なお、自宅通学者にあつては、生活費の記入を要しません。

本欄「現住所」は「住民票謄本の記載どおり」正確に記載してください。
 (連帯保証人欄も同様)
 ※記載例(請求記号が「公」→市入町2番地の16号の場合)
 台 090-0000-1111※前欄不可
 正 090-0000-1111※市入町2番地の16号
 電話番号は必ず記入

・住民票が同一の方全員を記入
 ・住民票が別であっても、同一生計者は全員記入
 ・住民票に名前がある方全員を家族とみなし、無職であっても、学生以外全員の所得証明書を添付

「年齢」は申込時現在で記入。

「連帯保証人」は原則として福島県内に住所を有する保護者。

旧中連帯可能電話番号を記入

住民票住所

「貸与月額」は該当する金額を記入してください。

国立	私立
18,000円	30,000円
自宅外	35,000円

貸与期間の希望する期間を記入してください。(最長12カ月)

- ・「収入金額」(給料所得者) ... 所得証明書の「給料収入金額」もしくは「給料支払金額」
- ・「所得金額」(自営業、農業等) ... 所得証明書の「営業所得」もしくは「農業所得」、「不動産所得等」
- ※学生以外全員記入願います

令和2年度に学生だった場合は「令和3年3月△△学校卒業」と記入してください。

特別な事情(障がい者、長期療養者等)に該当する者を「有」とし、別紙「特別の事情にかかる経費内訳書」により控除の申請が可能です。

避難等で、住民票住所と実際の住所が異なる場合は、

本欄に「現在居住している住所」の欄に「本人・連帯保証人」の住所を記入してください。

※受付番号	高・大・特例 第 ふくしま たらう	号	性別
※決定番号	福島太郎		男
ふりがな	昭和〇〇年〇月〇日(満16歳)		
氏名	〒960-8688 福島県福島市杉妻町2番16号		
生年月日	〒960-8688 福島県福島市杉妻町2番16号		
本籍	〒960-8688 福島県福島市杉妻町2番16号		
住所	〒960-8688 福島県福島市杉妻町2番16号		
希望事項	貸与月額	18,000円	
	貸与期間	令和3年4月から 令和4年3月まで	
	大学等入学	大学等入学	
※収入金額	疾病の有無	無	
※所得金額	勤又在	△▽▲高校	
※所得証明書の「給料収入金額」	職務	○◎○○○	
※所得証明書の「営業所得」	業	◎○○○○	
※所得証明書の「不動産所得等」	職	◎○○○○	
※学生以外全員記入願います	年齢	16	
	統柄	本人	
	名	太郎	
	父	大介	
	母	花子	
	姉	幸子	
	兄	一郎	
	計	6名	
	ふりがな	ふくしま だいすけ	
	氏名	福島大介	
	生年月日	昭和〇〇年〇月〇日(満45歳)	
	年間の収入(税込)	3,400千円	
	本籍	〒960-8688 福島県福島市杉妻町2番16号	
	住所	〒960-8688 福島県福島市杉妻町2番16号	
	電話	090(XXX)XXXX	
	本人・連帯保証人の現在居住している住所	〒960-1111 福島県郡山市麓山1-1-1 コーポハヤマ108号室	

福島県奨学生願書

△▽県立 ▲▽▲高等学校
 普通科 1 学年
 全日制
 〒 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇

同上の所在地(高等学校等の所在地を記入)

住民票住所

令和3年1月～令和3年12月までの収入見込を記入。

今年度貸与または申請中の奨学金名を記入して、奨学金の種類を○で囲んでください。
 ※「高校生等奨学金給付金」は記入不要。
 ※「福島県東日本大震災子ども支援基金給付金（月額金）」との併用は不可

中学校入学から現在までの状況を記入してください

例) 東日本大震災で自宅及び父の勤務先が原発事故の警戒区域となり、父が失業。現在は〇〇市に家族で避難しているが、家計が苦しいため。

東日本大震災で被災した状況と現在の家計状況を簡潔に記入してください

奨学金を希望する理由	有	修学のための資金の名称	奨学金の種類
	無	〇〇市奨学金(申請中)	貸与 給付 貸与 給付
本人の履歴	年 月 日	履 歴	
	平成30年 4月 〇日	〇〇市立 〇〇中学校入学	
	平成30年 9月 〇日	〇〇市立 〇〇中学校転学	
	令和3年 3月 〇日	〇〇市立 〇〇中学校卒業	
	令和3年 4月 〇日	△△県立 △△高等学校入学	
事項	収入	支出	備考
	家庭から 5,000円	生活費 8,700円	
	アルバイト等から 18,000円	通学費 9,300円	
	奨学金から 18,000円	校納付金 9,300円	
	その他から 23,000円	学用品 5,000円	
	計 23,000円	計 23,000円	
	1カ月当たりの平均学費(収入=支出)		

入学金は除く

以上の記載事項に相違ありません。奨学生として採用された場合は、福島県奨学生としての責務をはたすこととはもとより、上記のとおり保証人と連署して誓約します。

「収入計」=「支出計」としてしてください。

令和 3 年 〇 月 〇 日
 福島県教育委員会教育長

申請者 (自署) 福島 太郎
 連帯保証人 (自署) 福島 大介
 保証人 (自署)

必ず、申請者、連帯保証人
 をそれぞれ自署すること

記入日を忘れずに

福島県奨学生推薦調書													
氏名					在学 学校	立				部 制	科	年	
出身(在学)学校の成績	教科												
	年												
	年												
	教科												成績 平均値
	年												
	年												
推薦所見 〔学力〕 〔学人〕 〔家庭状況〕													
参考事項		(在学学校の学業成績の席次 (人中 位))											
上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、 奨学生として適当と認められますので、推薦します。													
令和 年 月 日													
学校長 (学長)												<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;">印</div>	
福島県教育委員会教育長													
※ 判定													

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身(在学)学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

第2号様式（第1条関係）

※受付番号

在学する学校で
作成してください

氏名	福島県奨学生推薦調書											
	福島太郎	在学学校	〇〇県立 〇〇〇〇〇高等学校	部	〇〇科	〇〇科	〇〇科	〇〇科	〇〇科	〇〇科	〇〇科	1年
出身（在学学校の成績）	教	国語	数学	理科	社会	英語	音楽	美術	技術	家庭	保健	体育
	科	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
推薦所見	学力 人物 家庭状況											
参考事項	（在学学校の学業成績の席次 人中 人位） 上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。 令和3年〇月〇日 △△県立 ▲▲高等学校 学校長（学長） 福島県教育委員会教育長											
※ 判定	印											

記入もれ注意!
全日制/定時制/通信制
の記入をお願いします。

「推薦所見」の欄は、申請者の
学力、人物、家庭状況等の観点
から記入してください。

「参考事項」の欄は、特になけ
れば無記入で結構です。

日付、学校名、校長名の記入と
職印の押印を、忘れずにお願
いします。

震災特例採用は、成績証明書
は不要です。

記載上の注意
(1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
(2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
(3) 十出身（在学）学校の成績の一の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等も添付する場合
には、記入を要しません。

学習状況等報告書

年 月 日

福島県教育委員会教育長

下記のとおり報告します。

学校名		学(校)	科 学科	年
決定番号		フリガナ 氏名 (自署)		
大・高・特例 第 号				
本人記入	経済状況	・父と母、又はそれに代わって家計を支えている人の家計状況が 申込時または前回の学習状況等報告書提出時と比較して ア. ほぼ変わらない イ. 苦しくなった ウ. その他 (特別な事情) ----- -----		
	学習の状況	・この一年間の学習成績 ア. 向上した イ. 変わらない ウ. 振るわなかった (今後の目標) ----- ----- ----- -----		

本人記入	学校生活の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でのクラブ活動等（クラブ名） ア. よくやった イ. 参加しなかった
	学校生活の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校以外での活動がある場合どんな活動だったのかを簡単に記入してください

学校認定	進級の状況	ア. 進級 イ. 原級
	奨学金継続の判断	ア. 継続 イ. 激励 ウ. 停止 エ. 廃止
学校認定	学校意見（特にウ・エの認定をした事由）	
学校認定	学校認定欄の記載のとおり相違ありません。	
学校認定	学（校）長名	職 印

記入上の注意

- (1) 奨学生は、本人記入欄について、記入押印してください。
- (2) 学校においては、学校認定欄を記入のうえ、成績証明書を添付し、提出してください。

居住証明書

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

1 居住者の氏名

2 住居の所在地

3 居住の期間

年 月 日から現在 (年 月) まで

令和 年 月 日

証明者 (住居の所有者又は貸主、学校寮は学校)

住所

氏名

印

提出が必要な方

- ・ 自宅外通学 (親、もしくは生計維持者と別居している) 奨学生
- ・ 住民票は同じだが、居所が別で別生計の祖父母等

【記入例】

提出が必要な方

- ・自宅外通学(親、もしくは生計維持者と別居している)者
- ・住民票は同じだが、居所が別で別生計の祖父母等

居 住 証 明 書

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

1 居住者の氏名

福 島 太 郎

2 住居の所在地

福島県郡山市麓山1-1コーポハマ103号室

3 居住の期間

令和3年 4月 1日 から 現在 (令和3年 7月) まで

寮 の 場 合・・・通学している学校で証明
アパートの場合・・・アパートの管理者等で証明
一軒家の場合・・・市町村の民生委員等で証明

証明者(住居の所有者又は貸主)

住 所 郡山市大町1-1

氏 名 (株)〇〇不動産

印

(注) 該当者のみ提出

特別の事情にかかる経費内訳

令和 年 月 日

福島県教育委員会教育長

(生徒名)

申請者

特別の事情にかかる経費については、下記のとおりです。

記

- 【該当項目】 ※該当する項目の番号に○をつけてください。
- 1 障がい者がいる。 (該当者 分)
 - 2 長期療養者がいる。 (該当者 分)
 - 3 家計支持者が別居している。
 - 4 火災・風水害・盗難などの被害を受けた。

(単位:円)

年・月						月計
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
領収書計						
年間推算額						

(注1)「障がい者がいる場合」：障がい者手帳のコピーを添付してください。

(注2)「長期療養者がいる場合」：病院・医師の「領収書(申込時まで6か月以上継続療養中のもの)」を添付し、年間所要見込額を推算してください。

※「障がい者がいる場合」に該当した場合は重複しての控除はできません。

(注3)「家計支持者が現在別居している場合」：表に家賃・電気・ガス等の費用項目を記入し、各々最新の数ヶ月分の領収書を添付し、年間所要見込額を推算してください。

(注4)「火災・風水害・盗難」：罹災証明書、被害届等を添付し、被害総額を推算してください。

(注5) 証明書類の添付がない場合は控除の対象になりません。

(注)

転職された方のみ提出
(昨年から申請時まで)

給与等支払(見込)証明書 (雇用契約内容について記入)

- 1 被雇用者氏名 _____ (昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生)
- 2 採用年月日 _____ 平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (臨時採用(試用期間)がある場合はその発令日を記入)
- 3 健康保険の加入 有 (_____ 年 _____ 月 _____ 日から加入)
無 (加入できない理由 _____)
- 4 給料、賃金等
 - ・月給制 月額 _____ 円
 - ・日給制 日額 _____ 円 (1か月平均勤務日数 _____ 日)
 - ・時間給制 時給 _____ 円
- 5 勤務を要しない日 _____ 日・月・火・水・木・金・土・祝祭日・不定期 (○で囲む)
- 6 月平均の勤務時間 (1日 _____ 時間 × _____ 日 = _____ 時間)
- 7 給与等支払状況 (採用年月日から1年間分(見込みを含む)を記入)

記入についてのお問合せ

: 福島県高校教育課 震災特例担当 電話:024-521-7775 被雇用者経由で高校教育課へ提出願います

支払 (見込) 年月	支払金額 (支払区分ごとに記入)			
	給料等	通勤費	超勤等分	合計
賞与				
賞与				
合計				

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

住所 _____

電話 _____ () _____

事業所名 _____

事業所長 _____

印